

### 第3部会(第3回)意見集約表(案)

審議内容:教育に関する部分

委員名	No.	素案 ページ	区分	各委員からの意見	意見集約(案)
井上委員	1	P127	政策4 子育て	パブリックコメントで寄せられた男女共同参画に関する意見を踏まえ、政策4の施策1に妊産婦の支援について記載されているが、母親の負担を和らげるためにも、父親あるいはパートナーの方への支援ないし教育を強調することが重要だと感じる。	施策1②妊娠・出産・子育て期の包括的な支援について、母親の負担を和らげるためにも、妊産婦の支援だけでなく父親あるいはパートナーへの支援ないし教育を盛り込むと良いのではないかと。
丸田委員	2	P131	政策5 教育	分野3は、子育てと教育の連携を図りながら政策及び施策を推進するという政策的意図があって、「子育て・教育」という構成になっていると理解しています。そのような理解でいいのであれば、政策5の基本的方向に子育てと教育の連携に向けた方向性を示すことができないでしょうか。	政策5の基本的方向に子育てと教育の連携に向けた方向性を示すと良いのではないかと。
長尾委員	3	P132	政策5 教育	新潟市の現状/将来を見据えた課題のうち「地域課題の解決」について、地域課題を解決する人材が必要にあるため生涯学習を通じて人材を育てていくように読めるが、施策2では生涯学習を推進する手段として地域課題の解決があるというように読めるため、どちらに主眼を置いているのか分かるような記載にすると良いのではないかと。	新潟市の現状/将来を見据えた課題のうち、地域課題の解決について、生涯学習の推進と地域課題の解決の関係性を整理して記載すると良いのではないかと。
小見委員	4	P133	政策5 教育	先行きが不透明な中で、これから生きていく子どもたちが、社会に役立っていく、自立していけるようなキャリア教育を実践していただきたい。令和2年度から導入された「キャリアパスポート」は、小学校から高校までの12年間、自分の学びや自分の進路への考えを蓄積していくツールなので、キャリアパスポートをうまく活用しながら、これからのキャリア教育を推進していくとよいと思う。	キャリア教育の推進にあたっては、令和2年度から導入された「キャリアパスポート」を上手く活用していくと良いのではないかと。
小池委員	5	P133	政策5 教育	幼児期の教育を子どもたちにどのように保障していくかということは大切な観点であるので、新潟市は幼児教育を大切にしていることを盛り込んでいただけるとよいと思います。	新潟市は幼児期の教育を大切にしていることを盛り込むと良いのではないかと。

### 第3部会(第3回)意見集約表(案)

審議内容:教育に関する部分

委員名	No.	素案ページ	区分	各委員からの意見	意見集約(案)
佐久間委員	6	P133	政策5教育	ICT教育に関して、子どもたちは先生方の教育のおかげでルールを決めて使っていると思うが、保護者はITリテラシーについて教育を受けることがない。夜9時以降は使わないなどルールを決めている家庭もあれば、管理を子ども任せにしてしまう家庭もあり、それによってネットトラブルが起きるようなこともあると思われる。豊かな心と健やかな体を育成するためにも、子どもたちだけでなく、保護者に対するサポートも盛り込んでいただきたい。	ICT教育について、タブレット端末などの活用にあたっては、長時間使用することで健康を損なうことがないように、保護者も含めて、特性について理解して適切な使用がされるように配慮することを盛り込むと良いのではないかと。
浦野委員	7	P133	政策5教育	学校保健医会などでも毎回ネットとゲームの話が上がっており、今の学校現場ではネットを必ずしもうまく使えていない状況と思われる。携帯端末を与えると子どもたちはいつまでも使用し続けてしまうということで、学校保健とICT教育の連携は重要である。ICTを活用するとともに、節度ある使い方、依存しないような使い方を強調していく姿勢が大事だと思われる。	
今井委員	8	P133	政策5教育	子どもたちは、タブレット端末以外にもゲーム機やスマートフォンなどの画面に触れているため、保護者の立場としてはトータルでどのくらいの時間までなら大丈夫なのか気になる。コロナ禍のなかでオンライン対応も進んでいるが、実際、オンラインでの授業は難しいということで、なかなかそこが実現しないている。学校に行けない子たちの学びの機会の保障という観点からのタブレットの活用も進んでいくと良いと思う。	
長尾委員	9	P133	政策5教育	ITというツールに携わっている立場からすると、アプリケーションなどは、行動経済学や脳の認知機能などをうまく利用して、なるべく長時間見続けるように誘導するような設計がされており、それがビジネスモデルにもなっている。そのため、ITの良い点だけではなく、このような仕組みによって皆さんは見続けているのだという部分についても伝えていけるような指導があると良いのではないかと。	
佐藤委員	10	P133	政策5教育	使い方を指導したとしても、おもしろければ子どもたちは使い続けると思われるので、制限をかけるようなシステムがあれば、学習のほかにもいつまでもゲームをすることはしないのではないかと。	

### 第3部会(第3回)意見集約表(案)

審議内容:教育に関する部分

委員名	No.	素案ページ	区分	各委員からの意見	意見集約(案)
今井委員	11	P133	政策5教育	特別支援教育が手厚くなるほど、インクルーシブ教育とかけ離れていくということを感じている。 特別支援学級の中ではいろいろなことを学んで体験して、自己肯定感を育むような声かけをしてもらえるが、通常学級に戻ると手放されたような感じになってしまうため、そのあたりの乖離を感じる。	インクルーシブ教育システムの構築について、特別支援学級と通常学級が乖離していくことのないよう、他者との違いや多様性を認めつつ、お互いのよさを認め合っていくような学びを実現できると良いのではないかと。
小見委員	12	P133	政策5教育	「協働的な学び」を通常学級でも特別支援学級でも進めていくと、他者との違いや多様性を認めて、そのうえでお互いのよさを認め合っていくような学びが生まれるのではないかと。	
小見委員	13	P133	政策5教育	文部科学省において、特定の分野に特異な才能のある子どもたちに対する支援についての審議会がスタートしており、アメリカではギフテッド教育といわれているが、才能があって伸びる可能性のある子たちにもっと光を当てていく支援というのも、今後おそらく国も推進していくと思われるので、新潟市も取り組んでいくと良いのではないかと。	ギフテッド教育といわれる、特定の分野において特異な才能のある子どもたちに光を当てる支援について、新潟市も取り組んでいくと良いのではないかと。
井上委員	14	P134	政策5教育	多忙により心身を病む先生が増えていくと聞く。先生方はキャリア教育やICT教育など対応すべきことが増えて大変になっており、地域との連携についても、助かる部分はあるにせよその下準備もまた大変だと思われる。 新潟市で先生として働きたいと思わせるような、支える側ではなくて教職員たちも主役であるというように、子どもたちのためにも育む側の人々をサポートするような、育む人たちが楽しく教育に携われる感覚になれるような文章になるとよいと感じる。	教職員自身の暮らしが安定して幸福であることが、子どもたちにも良い影響をもたらすと思われる。教職員も主役であり、新潟市で先生として働きたいと思えるように、教職員自身の家庭が充実するような働き方の実現について盛り込めると良いのではないかと。
小見委員	15	P134	政策5教育	教育支援をしている団体として、先生方は身を削って頑張っておられると感じている。先生自身の暮らしが安定していて、ウェルビーイングであったり幸福であることが、子どもたちにも良い影響をもたらすと思うので、先生方の幸せの実現も大切にしたいと思う。 先生方の男性の育児休業取得率はとても低いと思われる。子どもに身近にいる方々が育休も取れないというのは残念なことなので、先生自身の子育てや家庭も充実していけるような働き方が実現できるとよい。 コミュニティ・スクールを推進することは働き方改革にもつながると言われており、データでも明らかになっている。不登校やいじめなど切実な問題についても、個人情報の問題はあると思われるが、地域の方々と一緒に解決していくような方向性を考えていけるとよい。	

### 第3部会(第3回)意見集約表(案)

審議内容:教育に関する部分

委員名	No.	素案ページ	区分	各委員からの意見	意見集約(案)
今井委員	16	P134	政策5教育	<p>地域と学校パートナーシップ事業などにおいて、PTAや保護者が地域のリソースとして捉えられていないように感じる。保護者が地域の一員として関わることで、学校との関係性も近くなっていくのではないかと。</p> <p>先生方の負担軽減のために地域に移行しようとしていることについても、地域コミュニティ協議会やセカンドキャリアの人たちが頑張るといっただけではなくて、できることをできる範囲でできる人たちがやっていくところの中に入ってこられる人たちが、保護者をはじめ多くいるはずなので、働きかけていけるとよいのではないかと。</p>	<p>保護者も地域住民の一員であるので、地域との連携にあたっては、保護者に対しても協力を働きかけると良いのではないかと。</p>
佐久間委員	17	P133	政策5教育	<p>施策1の「②豊かな心と健やかな身体の育成」の四つ目の○、生涯にわたって心身共に健康に生き抜く力を育むためにということに、性教育を盛り込んでもらいたい。</p> <p>性犯罪や性被害の増加や若年化が大きな問題になっており、自分で自分の身を守るためにも性教育はとても大切なことであり、一人一人がかけがえのない存在で、そして、そのかけがえのない命をこれから育む存在であるということを伝えるべきだと思う。</p> <p>また、子どもたちはネットからいろいろな情報を拾うが、早いうちかつ必要な時期に正しい知識を伝えることが大切で、生涯学習やキャリア教育にもつながる内容とも思う。妊娠できる時期は限られているということを伝えることで少子化への対応にもつながり、男女平等の意識も高まっていくのではないかと思われる。</p>	<p>施策1②豊かな心と健やかな身体の育成について、性被害の増加や若年化が問題になるなか、自分で自分の身を守るためにも、性教育の要素を盛り込むと良いのではないかと。妊娠できる時期は限られていることなど、必要な時期に正しい知識を伝えることでキャリア教育や少子化への対応などにもつながると考えられる。</p>
小見委員	18	P135	政策5教育	<p>新潟市には高校までであるということを見据えた教育が重点的に行われるとよいのではないかと。3校ある市立高校はそれぞれ特色のある学校であり、県立高校も今後ますます特色化していくと思われるため、新潟市としては18歳まで見据えた教育を示していく必要があるのではないかと。</p> <p>そうすると政策指標についても、中学3年生までにとどまらず高校3年生まで対象にするとういのではないかと。高校に進むと、どうしても地域への愛着や地域とのかかわりが減ってしまう部分があるため、新潟市で育った子どもたちは、18歳まできちんと地域への愛着や郷土愛、プライドを持ち続けるということを政策指標で示せるとよいと思う。</p>	<p>新潟市では高校までを見据えた教育を行っていくことを示す必要があるのではないかと。また、政策指標についても、高校3年生まで対象にすることで、新潟市で育った子どもたちは、18歳まで地域への愛着やプライドを持ち続けることを示せると良いのではないかと。</p>
長尾委員	19	P90	重点戦略7	<p>政策5の審議のなかで、教職員の働き方改革に関する意見が出ていたので、重点戦略7についても、保育の質の改善や放課後児童クラブの質の改善に加えて、教職員の働き方の改善や教育の質の向上という要素も加えるとういのではないかと。</p>	<p>重点戦略7について、教職員の働き方の改善や教育の質の向上という要素を盛り込むと良いのではないかと。</p>